

科目名	解剖生理学 II	科目分類	☐ 基礎教育科目 ☒ 専門教育科目
			☒ 卒業必修 ☒ 栄養士必修 ☐ 選択
英文表記	Human Anatomy and Physiology II	開講年次	☒ 1年 ☐ 2年
ナンバリング	HB112G	開講期間	☒ 前期 ☐ 後期 ☐ 通年 ☐ 集中
ふりがな	おおにし てつお	授業形態・修得単位	2単位
担当教員名	大西 哲生	実施方法	☒ 対面のみ ☐ 遠隔のみ ☐ 対面・遠隔併用
		実務家教員担当科目	
授業のテーマ	人体諸器官の解剖学的特徴（構造）および生理学的特徴（機能）について理解する。		
授業概要	本講義では人体を各器官系統に分け、それらを構成する各器官の形態と構造およびその機能について解説することにより、受講生がヒトの体内における生命現象がどのようなメカニズムによって行われているかについて学ぶ。		
到達目標	①人体および各種器官系の構造上の特徴を理解し、各部の名称を覚えるとともに説明できる。 ②人体の生理機能に関する知識を習得するとともに、生体の恒常性の維持の仕組みを理解したうえで説明ができる。		
授業時間外の学習	相当の情報量があるので、講義の前に資料（ポータルサイト経由で事前配布する）に目を通し、よく理解できない事項を整理してから臨むこと。後期以降開講される生化学・病態生理学・臨床栄養学などもこの科目の正確な理解がないと困難であることから、常に復習（週に最低60分程度）を心がけ、教員に質問するなど自発的な努力が求められる。YouTubeなどにあるコンピューターグラフィックを使った動画なども重要事項をイメージとして理解するために極めて有用なので、視聴を指示された動画はならず視聴しておいてくこと。		
履修条件	基礎教育科目「生物学」「化学」「有機化学」をあわせて受講し（高校で関連内容をしっかり学んで身につけてきた方については必ずしも受講は必要ありません）、それらの内容を相互に参照することで理解を深めてほしい。		
授業計画			
第1回	テーマ：循環器系Ⅰ～心臓の構造と機能～		
第2回	テーマ：循環器系Ⅱ～血液の循環、血管の構造、血圧、循環調節機構～		
第3回	テーマ：呼吸器系Ⅰ～気道と肺の構造と機能～		
第4回	テーマ：呼吸器系Ⅱ～ガス交換と呼吸調節～		
第5回	テーマ：ミニテスト①、腎・尿路系Ⅰ～腎臓の構造、尿～		
第6回	テーマ：腎・尿路系Ⅱ～腎臓の機能、電解質調節～		
第7回	テーマ：腎・尿路系Ⅲ～腎臓の機能、血圧調節、酸塩基平衡～		
第8回	テーマ：神経系Ⅰ～神経系の特性、体性神経、自律神経～		
第9回	テーマ：神経系Ⅱ～神経系における血液循環、感覚～		
第10回	テーマ：ミニテスト②、内分泌系Ⅰ～ホルモンの分類と作用機序、分泌調節～		
第11回	テーマ：内分泌系Ⅱ～ホルモン各論①、下垂体ホルモンなど～		
第12回	テーマ：内分泌系Ⅲ～ホルモン各論②、副腎ホルモンなど～		
第13回	テーマ：ミニテスト③、生殖器系Ⅰ～生殖器の発生と形態～		
第14回	テーマ：生殖器系Ⅱ～性周期、排卵、妊娠と分娩～		
第15回	テーマ：皮膚の構造と機能、体温調節		
第16回	定期試験		
テキスト	南江堂 健康・栄養科学シリーズ「解剖生理学」（上嶋・濱田編）（「解剖生理学Ⅰ」と共通）		
参考文献・資料	適宜紹介するが、同じセクションを別教科書で軽く復習すると理解がより深まる		
成績評価の方法	出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。定期試験の成績40点、ミニテストの成績40点、取り組む姿勢20点で評価します。		
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)		
オフィスアワー	平日随時		
受講生に望むこと・受講のルール	疑問点を放置しないこと。疑問点・理解できない点は遠慮なく質問すること。		